

行政評価書（外部評価）結果総括表

＜令和元年度実施計画分＞

令和2年7月

行政評価（外部評価）結果総括表（令和元年度実施計画分）

第1節 「集まる」まちをつくる（ひとづくり）

政策名	施策名	評価点数	評価の理由
4. 生涯現役で生活できる健康元気づくり	1. 心と体の健康づくりの推進	—	—
	2. 地域医療の充実	75.0	<p>全般的に概ね順調に推進されているが、増加する社会保障費に対して、適正受診勧奨やジェネリック医薬品の利用促進による医療費の削減に一層の努力が求められる。健康寿命延伸に向けた各種取り組みに加え、健康診断等の機会を捉えてジェネリック医薬品の利用啓発を行うなど、関係課との横断的な連携のもと医療費の適正化に努められたい。</p> <p>また、川西診療所の整備については、新たな診療所を整備する必要があるのかどうかも含め議論の余地はあるが、費用対効果や必要な診療科、メディカルタウン等への誘致・開業状況を総合的に判断のうえ検討を進められたい。</p>
	3. 地域福祉の推進	75.0	<p>ひとり親家庭や生活困窮者の支援など、関係機関との連携が図られ適切な対応がなされている。今後、高齢化の進展に伴い、対応困難なケースの増加や業務量の増加が予想されるが、民生委員との一層の連携強化等、細やかな支援に向けた環境整備を進め、必要な方に必要なサービスが確実に提供されるよう期待したい。地域福祉の推進は住民等の積極的な参加によるところが大きいことから、地域の繋がりが希薄化傾向の今日、様々な機会を捉え情報提供を行い、動機付けや意識の向上に向けた取り組みを継続されたい。</p> <p>また、福祉センターのあり方の検討については、十分な検討期間があったにもかかわらず結論が得られていない。施設の老朽化等の現状からも、除却又は建設等の方向性については、早急に決定すべき重要事項である。</p>
	4. 高齢者福祉の充実	—	—
	5. 障がい者（児）福祉の充実	81.3	<p>障がい者（児）福祉の充実に向けて、関係法令等に基づき推進されており、支援策も充実している。町民の正しい理解のもと積極的にサービスを利用できるよう、多くの町民が参加する場での啓発や社会への参加機会の創出を通して、差別解消、町民理解の深化に努められたい。</p> <p>各種支援業務にあたっては、障がい等級や所得課税状況を正確に把握するとともに、利用者アンケート等によるニーズの把握、専門知識を持つ相談員や社会福祉協議会等との連携により、障がい者（児）の自立促進、経済的負担の解消に向けて支援を継続されたい。</p>

第2節 「楽しい」まちをつくる（ちいきづくり）

政策名	施策名	評価点数	評価の理由
2. 快適で住みよい環境づくり	1. 多様な住宅環境の整備	—	—
	2. 総合的な雪対策の充実	—	—
	3. 豊かな自然環境の保全	81.3	<p>町民ニーズ、施策の方向性に関しては、概ね反映・合致しているが、成果指標の達成率が低下している事業や、自然・外的要因により効率的に進捗が図られていない事業も見受けられる。鳥獣被害防止、森林管理、河川管理については、内部評価においても進捗性の評価が低くなっており、特に河川については、豪雨による自然災害が発生した場合、人命に係わる被害も想定されるため、適正管理と優先的な整備等、対策を講じられたい。森林経営管理制度については、住民周知に努め、必要な業務を粛々と進められたい。</p> <p>なお、事業効率の観点のみではなく、継続的な啓蒙や事業の実施、ごみの減量化・資源化の推進に向けて町民が取り組みやすい活動の展開も重要であることから、地道に環境保全意識の醸成に努められたい。</p>
	4. 暮らしを支えるインフラの維持	81.3	<p>上下水道は町民生活を支える重要なインフラであるが、ニーズと進捗に乖離が見られるなど、財源確保、進捗性が課題である。課題解決に努めるとともに、公営による堅実な運営と計画的な維持・整備を図られたい。水洗化の促進にあたっては、広報媒体の活用や戸別訪問等により下水道への加入を促進するとともに、合併処理浄化槽設置補助金の増額を図るなど、更なる経済的負担の軽減策を検討されたい。</p> <p>情報化の推進に関しては、NCVをメインとして情報化の推進を図ってきたこと、事実上国内の基幹線であるNTT光回線が未敷設であったことなど、町民の選択肢が制限されてきた。高度情報化が進む現在、また今般のコロナ禍において、教育・文化・産業等に必要なライフラインの1つであり、情報格差が収益格差を招くことになりうるため、総合的な情報化の推進を目指すべきである。</p>

第3節 「挑戦する」まちをつくる（しごとづくり）

政策名	施策名	評価点数	評価の理由
5. 効果的で効率的な行政運営づくり	1. 公共施設の計画的な整備	75.0	必要最小限の維持修繕はなされているが、公共施設等の老朽化が進展していく中で、町有施設の有効な利活用と改廃については、町民ニーズの把握とスピード感をもった具体化が求められる。今後の公共施設全体のあり方を含めた長期的な観点により「川西町公共施設個別施設計画」を適宜見直ししながら、利用者の安全確保と維持管理費の負担軽減に努められたい。
	2. 行財政改革の推進	81.3	行財政改革に向けた行政サービスの電子化や職員研修等の取り組みは一定の評価はできるが、更なる行政サービスの利便性向上については、町民の立場に立った見直しが必要不可欠であるとともに、電子化に伴うミスを防ぐための検証・チェック体制の構築も重要である。行政サービスの電子化に伴うマイナンバーの普及拡大においてもメリットを実感できる環境整備と一層の周知が求められている。これまでの対応にとどまることなく、時代の変化に対応した行政サービスの立案・実行に取り組まれたい。 また、大規模事業により財政の硬直化が懸念されており、将来を見据えた財政の健全化が求められ、行財政改革をさらに充実・強化していく必要がある。
	3. 広域行政の推進	87.5	置賜管内の各市町との電算システムの共同化やごみの広域処理等、スケールメリットを生かした効率化が図られている。 一方、人口減少と少子高齢化の社会情勢の中で、中心となる市（米沢市）と近隣の市町村が役割分担、協力して必要な生活機能を確保し、住みやすい地域社会をつくることを目的に、「置賜定住自立圏構想」が令和元年度からスタートしたが、具体的な取り組みが見えてこない。早期に具体的な事業を明示し事業の推進を図られたい。

主要プロジェクト

主要プロジェクト名	評価点数	評価の理由
1. 地域経済活性化プロジェクト	62.5	<p>プロジェクトを構成する事務事業の適合性や方向性等については、概ね適切であると判断されるが、一部進捗等に課題が残る。少子高齢化が進展する中、自立性・持続性を高めるため、地場産業との連携等を深めた施策を強力かつ迅速に展開する必要がある。</p> <p>企業誘致に関しては、進捗が困難な事業ではあるが、置賜総合病院付近一円が近代医療の新拠点として都市機能充実に向け整備が進められていることから、首都圏や大企業等への情報発信に努め、店舗等の誘致に期待したい。また、創業支援、既存の町企業の掘り起こしについても積極的な推進を図りたい。</p> <p>エネルギー対策事業に関しては、民間の太陽光発電所の整備が進んでいるが、町としての施策展開が見えないため、情報収集と調査研究に努め具体策の検討を図りたい。また、民間の太陽光発電事業に関しては、安定的な事業経営が望まれることから、冬期間の発電効率等、事業の採算性・継続性について情報収集に努められたい。</p> <p>置賜農業高等学校との連携については、高校生の感性、アイディアで地元生産物を活用した商品開発等を行い、川西ブランドとして販売に結び付け起業へと繋げることも可能であることから、JAとの連携なども視野に入れた事業展開を図りたい。</p> <p>農業の担い手確保や営農推進に関しては、農業振興マスタープランに基づき目的に沿った事業展開が図られているが、町内製品の販売促進等においては、首都圏等における現地販売によるPR活動の他、森のマルシェを拠点としたEC販売の実施によるPR等の手法も検討されたい。</p>
2. 移住・定住促進プロジェクト	68.8	<p>移住定住を促進していくうえで、産業や住宅、福祉・医療、交通、除雪体制、子育て環境等が成果に大きな影響を与える要因となる。本プロジェクトの推進にあたり、町独自の補助事業等も実施しているものの、全体的にまだ十分な取り組みとはなっていない。空き家バンクや除雪体制の充実をはじめ、多様化するニーズに対応した各種支援やPRの拡大を図るとともに、独自性やインパクトのある事業、川西町に住みたいと思う動機付けとなるような事業の展開が望まれる。</p> <p>総合戦略のリーディングプロジェクトにも位置付けられるメディカルタウンの整備にあたっては、診療科が重複しないような効果的な医院誘致や若者に関心を持ってもらえるようなプロモーションも用いながら事業の推進を図られたい。</p> <p>また、町の魅力や特徴等に関する情報発信は、外部への発信に偏りがちであるが、町民に向けた啓発や教育の題材とするなど、町を知り、町に誇りを持ってもらう工夫が求められる。町民が住み続けたいと思える町、誇りを持って暮らせる町にしていくことが、本プロジェクトの最大のアピールになると考える。特に、若者に関心を寄せ、生まれ育った川西町にずっと住みたいと感じられるまちづくりの推進を期待する。</p>

3. 生涯現役プロジェクト	75.0	<p>生涯現役を目指すには、こころと身体が健康であることが重要であり、健康を保持するためには、社会が希薄化する中においても社会との繋がりを持ち続ける仕組みづくりが必要である。学習機会の提供や芸術文化の振興支援、食育や心身の健康づくり、健診等を通じた健康寿命の延伸や包括的支援事業等、各関連事業の展開により目的達成に向けた効果的な取り組みが進められているものと評価できる。</p> <p>高齢者のみならず、様々な年代の町民が気軽に参加できる各種企画の一層の充実を図り、こころと身体の健康づくりに努められたい。また、高齢化の一層の進展に伴い、介護を必要とする人が増加することが予想されることから、専門職の確保も視野に入れ、適切な対策を図るとともに、今後の社会情勢の変化に適切に対応し、高齢者サロン等の健康づくり事業が継続的に実施できるよう、場所の確保や運営の方法等について検討を重ねられたい。</p> <p>一方、現在のコロナ禍の中、リモート学習等のオンラインコミュニティが注目されており、新たな生活様式の実践に向けた社会参画の新たな手法として、各分野におけるインターネットの活用に関する検討が求められている。オンラインコミュニティの導入促進に向けた調査研究を進めるとともに、安全な利用を促進するため、子どもから大人まで幅広い世代に対する情報教育の充実にも注力されたい。</p>
4. 女性にやさしいまちづくりプロジェクト	75.0	<p>子育てに関する支援については概ね充実している。事業の周知に努め、支援を利用しやすい環境づくりを進めるとともに、地域との連携のもと、子どもの健やかな成長と女性の就労を支援されたい。加えて、安心して子どもを産み育てていくうえで経済力も重要な要素のひとつであり、子育て家庭の所得向上を図る点からも女性が働きやすい環境づくりに努められたい。</p> <p>女性の活躍推進という点においては、女性からの意見を積極的に取り入れ、活躍するうえで不自由を感じさせないようにすることが重要である。そのためにも、女性の観点で考えや意見を聞く場を設定し、男女がともに意見を出し合い、ボトムアップにより事業を検討していくことが必要である。</p>

「川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における数値目標及び重要業績評価指数（KPI）の進捗状況

プロジェクト名	評価	評価の理由
1. 地域経済活性化プロジェクト	概ね順調	<p>施策の設定については、ほぼプロジェクトの具体的な成果につながるものと判断できるが、KPIに関しては、不適切と思われるものが散見される。</p> <p>目標値の達成状況に関しては、本町の基幹産業である農業をはじめ各分野において概ね順調に推移しているものと判断できるが、地域経済活性化の更なる進捗を期すうえで必要な所得向上を図るためには、関係機関との情報共有による6次産業の推進や起業・誘致企業に係る新たなアイデア等、新たな展開に結び付く戦略が期待される。</p>
2. 移住・定住促進プロジェクト	概ね順調	<p>施策による移住者数等、目標値を越えている指標がある一方で、ライフデザイナーによる成婚数や、令和元年度の地域おこし協力隊の任期終了後の定着数など成果がなかった項目が見受けられる。</p> <p>人口の社会減に歯止めがかかっていないという問題意識をしっかりと持ち、若者ニーズの反映、地域おこし協力隊を含めた移住者の増加に向けて取り組みを強化されたい。</p>
3. 女性が活躍するまちづくりプロジェクト	概ね順調	<p>子育て支援に関連する項目については、概ね成果が出ているが、女性の社会増減数、女性委員を含む審議会・委員会の比率、山形いきいき子育て応援企業認定社数については、成果の伸びが芳しくない。女性の参画・活躍を促すためには、町が率先して女性を登用し、女性が参画しやすい環境づくりを進めていくことが必要である。</p> <p>また、女性の社会減は、出生数の減少にも直結するため対策が必要である。</p>
4. 生涯現役プロジェクト	概ね順調	<p>介護開始年齢の延伸、地域サロン数や健康相談等受講者数の増加は、各種取り組みの成果として評価できる。これまでの取り組みの成果を維持するとともに、今後一層の進展が予想される高齢化社会に対応するため、高齢者の社会参画・就労の場づくり等の具体的な支援が必要と思われる。今後も地域包括ケア体制の拡充を図り、在宅療養の進展や「生涯現役」で幸せに生き抜くことを支える福祉・医療・介護、生活支援サービス等の機能強化に努められたい。</p>